2025 年 6 月 13 日

「We are Engine.」実行委員会事務局

～工学女性をもっと増やすために～
道内外の企業が参画する「We are Engine.」プロジェクト発足
6 月 23 日（国際女性エンジニアの日）にロールモデルが出演する新聞広告を掲載

このたび、北海道大学工学部は、株式会社北海道新聞社、株式会社電通北海道の協力のもと、道内外のパートナー企業の皆様とともに、工学を目指す女性を増やすプロジェクト「We are Engine.」を発足し、本日、記者発表会を開催いたしました。

本プロジェクトは、各企業で活躍する工学女性に光を当て、工学を志す中学生・高校生のロールモデルとして先頭に立ち、様々な活動を実施してまいります。こうした取り組みを通じて、工学分野における女性比率の向上を図り、企業や大学のイノベーションの推進、さらには我が国の産業競争力の強化を目指します。

圧倒的に低い“工学”の女性比率

内閣府の「男女共同参画白書（令和 6 年度版）」によると、日本の大学における工学部の女子学生比率は約 16%にとどまっており、理学部（約 28%）や農学部（約 46%）など、他の理系分野と比較しても依然として低い水準にあります。

その背景には、女性ロールモデルとの出会いの機会が限られていることから、進路選択の段階で工学の具体的な魅力や将来の活躍イメージを持ちにくいという課題もあると考えられます。

こうした状況に対応するため、本プロジェクトでは「女性工学人材のロールモデルの可視化」に重点を置き、道内外の企業の皆さまと連携しながら、多様な施策を展開していきます。工学の魅力や可能性を、より多くの女子生徒に届けることを目指します。

道内外の多くの企業様がパートナーとして参画しています。

道内外の多くの企業様が、当プロジェクトの企画・趣旨にご賛同いただき参画していますので、ご紹介いたします。(※50 音順)

●ゴールドパートナー

＜お問い合わせ先＞　「We are Engine」実行委員会 事務局（電通北海道）（平日 10：00～17：00）

中川／080-1895-5735・用貝（ようがい）／080-8821-5856

●レギュラーパートナー

2025 年度の取り組み

2025 年度は以下の内容で展開してまいります。

● ６月２３日の「国際女性エンジニアの日」に合わせ、北海道新聞３０段広告を実施します。
６人のロールモデルが出演するビジュアル、工学分野の女性が増えるヒント等を盛り込んだ内容です。
※「国際女性エンジニアの日」…女性エンジニア協会が制定した「International Women in Engineering Day（INWED）」
●上記新聞広告と同様のビジュアルのポスターを制作し、北海道内の中学校・高校に配布します。
●note「北海道キカクラブ」（電通北海道運営）にて、ロールモデルのみなさんと北海道大学 女性教員との対談を６回にわたって掲載します。
●北大を含む実行委員会とパートナー企業との会議体「We are Engine.会議」を発足。
年２回 会議を開催し、当プロジェクトが進めるべき施策を議論し、実行していきます。

このプロジェクトは、数年かけて進めていくと同時に、プロジェクトの輪を、道内はもちろん道外へどんどん広げていきたいと考えています。

このプロジェクトに興味を持っていただき、参画していただける企業の皆様を随時募集してまいりますので、ぜひ事務局にお問い合わせください。

記者発表会 フォトセッション画像

＜お問い合わせ先＞　「We are Engine」実行委員会 事務局（電通北海道）（平日 10：00～17：00）
中川／080-1895-5735・用貝（ようがい）／080-8821-5856